



Doshisha University Academic Repository

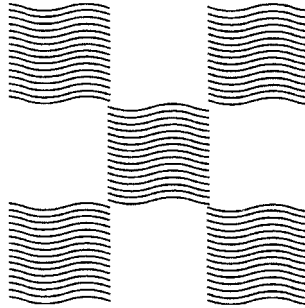
同志社大学学術リポジトリ

表紙、目次、編集規定、編集後記、編集委員、奥付

著者	同志社社会学研究学会
雑誌名	同志社社会学研究
号	9
ページ	n
発行年	2005-03-20
権利	同志社社会学研究学会
URL	http://id.nii.ac.jp/1707/00020865/

同志社社会学研究

「第9号」



2005年3月

●最終講義

人間疎外論の遺産

三沢 謙一

●研究論文

尼崎公害患者のライフコース研究に向けて

杉本久未子

——ライフコース研究とライフヒストリー調査——

森林ボランティア活動が紡ぎ出す公共性

栗本 修滋

都市郊外における高齢者の社会的ネットワーク

宍戸 邦章

——ネットワーク構造と生活機能外部化の関連について——

現代大学生の職業選好に関する計量的分析

山本 圭三

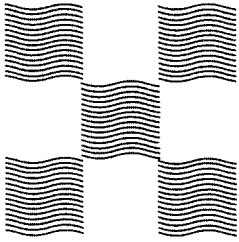
——島根大学調査データをもちいて——

●研究ノート

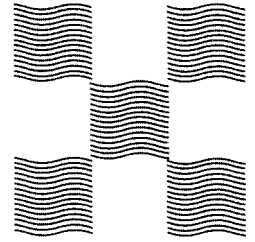
日本型ポスト青年期の流行歌

吉岡 威史

——「現実」隠蔽システムとしての励まし歌——



ISSN 1342-9833



Doshisha Review of Sociology

No. 9 March 2005

CONTENTS

●FINAL LECTURE

The Heritage of the Theory of Alienation

MISAWA Kenichi

●ARTICLES

The Life Courses and Life Histories of Air Pollution Victims :

Life Course Research and Life History Survey from Amagasaki City

SUGIMOTO Kumiko

Public Sense amongst Forest Volunteers

KURIMOTO Syuji

Social Networks of the Elderly in the Suburbs :

Network Structure and Socialization of Life

SHISHIDO Kuniaki

Occupational Preference of University Students :

A Quantitative Analysis Using Shimane University Data

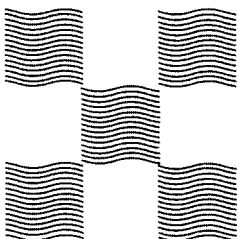
YAMAMOTO Keizo

●NOTE

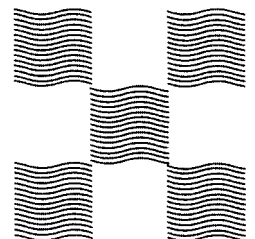
Popular Songs of Japanese Post-Adolescence Culture :

How Have Songs of Encouragement Screened Youth
from Social Reality?

YOSHIOKA Takeshi



Doshisha Sociological Association



同志社社会学研究

NO. 9, 2005

<目次>

●最終講義

人間疎外論の遺産 三沢 謙一 1

●研究論文

尼崎公害患者のライフコース研究に向けて 杉本久未子 15
——ライフコース研究とライフヒストリー調査——

森林ボランティア活動が紡ぎ出す公共性 栗本 修滋 27

都市郊外における高齢者の社会的ネットワーク 穴戸 邦章 41
——ネットワーク構造と生活機能外部化の関連について——

現代大学生の職業選好に関する計量的分析 山本 圭三 57
——島根大学調査データをもちいて——

●研究ノート

日本型ポスト青年期の流行歌 吉岡 威史 73
——「現実」隠蔽システムとしての励まし歌——

研究室だより 91

2004年度院生業績一覧 92

博士・修士論文題目 95

執筆者紹介 96

「同志社社会学研究」編集規定

編集後記

「同志社社会学研究」編集規定

1. 本研究誌は同志社社会学研究学会の機関誌として社会学の研鑽に寄与し、また会員相互の研究交流に資することを目的とする。
 2. 掲載内容は以下のものとする（枚数：400字）
 - 研究論文（40～60枚）
 - 研究ノート（20～30枚）
 - 学会・研究動向（10～20枚）
 - 書評・紹介（10～15枚）
 - 研究室だよりなど
 3. 編集委員は本学社会学専攻教員、同院生及び同卒業生の代表により構成される。
 4. 投稿者は本学社会学専攻教員、同院生、同修了・卒業生とする。
 5. 原稿は未発表のものに限る。掲載の可否は、専門のレフリー（本学教員＋外部の専門家各1名）の審査の結果を受け、最終的に編集委員が行う。
 6. 原稿の締め切りは12月末、発行は翌年3月とする。
 7. 執筆要項
 - 横書き、口語常体、完成原稿で提出。註や参考文献の書式は日本社会学会機関誌「社会学評論」に準じ、論文の最後に別々にまとめる。詳しい執筆要領は別に定める。
 8. 提出原稿の形式
 - 題目は日本語と英文タイトルをつけ、フロッピー1枚とハードコピー（40字×40行）を3部提出。（フロッピーは1.4MBを使用し、MS-DOS及びMACのテキストデータとする。）
- *その他の事項については、社会学の研究誌としての性格に鑑み、編集委員会が対応する。

◆ 編集後記 ◆

『同志社社会学研究』第9号をお届けします。

本号は、今年度で退職されます三沢謙一名誉教授の最終講義と、杉本久未子先生、栗本修滋氏、宍戸邦章氏、山本圭三氏の論文及び吉岡威史氏の研究ノート
の計6編で構成されています。

お読みいただき、ご感想、ご批判、ご意見などお寄せいただければ幸いです。

◆ 編集委員 ◆

森川眞規雄

立木 茂雄

飯田 剛史

越智 祐子

雨森 聡

田中 志敬

同志社社会学研究 第9号

2005年3月20日発行

発行人 同志社社会学研究学会

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

TEL. 075-251-3441

FAX. 075-251-3066

印刷 協和印刷株式会社